

Windows 端末での手順

本手順は Windows10 で Internet Explorer11 を使用した手順です。他のバージョンをご使用の場合は画面が多少違う事、また文言が違う場合がありますが適宜読み替えて下さい。

クライアント証明書のインストール

ログイン後の画面で、クライアント証明書のダウンロードをクリックします。



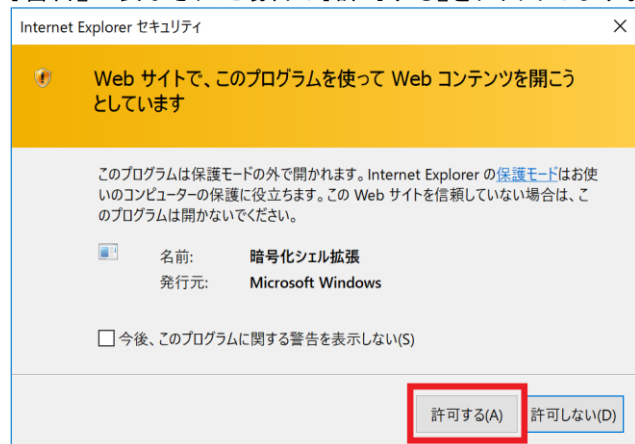
『ファイルを開く』をクリックします。



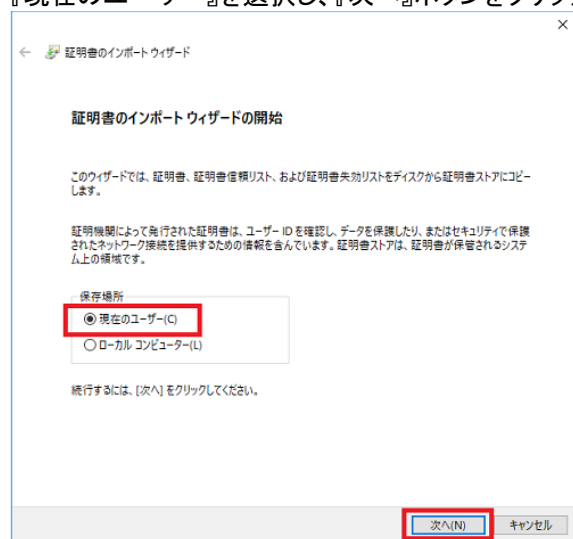
※ご利用のブラウザにより表示が異なります。

(『保存』をクリックした場合、通常は "ダウンロード" か "マイファイル" にファイルが保存されます。任意の場所に保存する場合は、保存先を忘れないようにしてください。
ダウンロードした証明書ファイルを開くと、次の手順に進めます。)

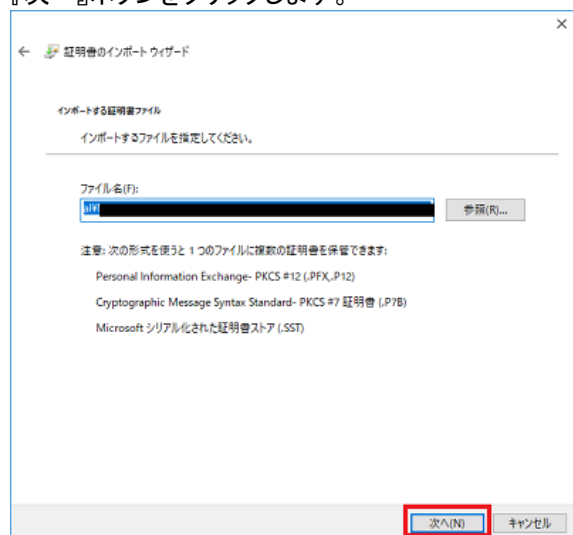
『警告』が表示された場合は『許可する』をクリックします。



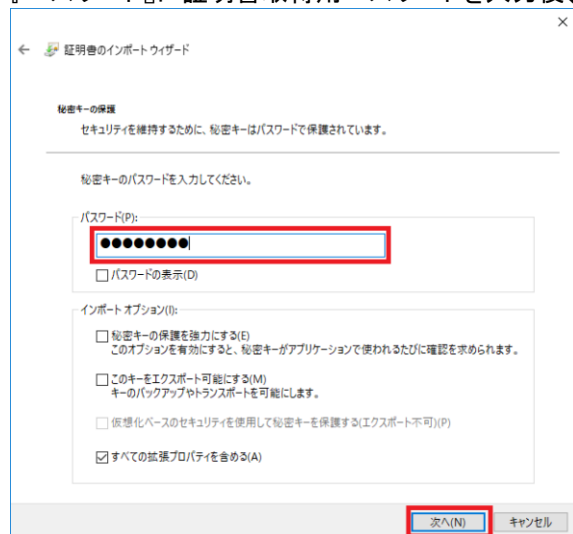
証明書のインポートウィザードの開始が表示されます。
『現在のユーザー』を選択し、『次へ』ボタンをクリックします。



『次へ』ボタンをクリックします。



『パスワード』に証明書取得用パスワードを入力後、『次へ』ボタンをクリックします。



『次へ』ボタンをクリックします。

証明書のインポートウィザード

証明書ストア

証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。

☒ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)

☐ 証明書をすべて次のストアに配置する(P)

証明書ストア:

参照(R)...

次へ(N) キャンセル

『完了』ボタンをクリックします。

証明書のインポートウィザード

証明書のインポートウィザードの完了

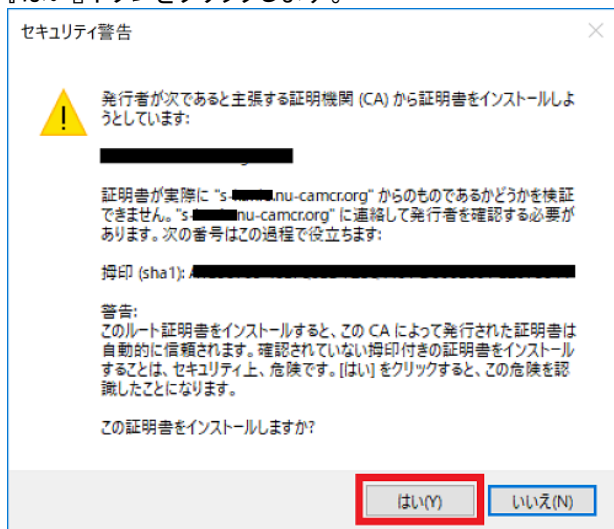
[完了] をクリックすると、証明書がインポートされます。

次の設定が指定されました:

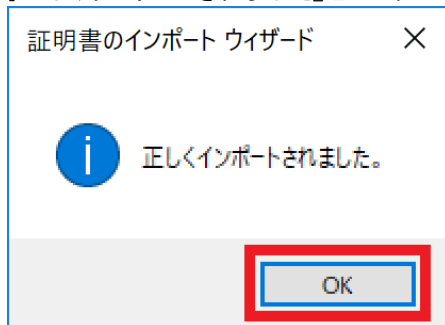
選択された証明書ストア	ウィザードで自動的に決定されます
内容	PFX
ファイル名	C:\...

完了(F) キャンセル

『はい』ボタンをクリックします。



『正しくインポートされました』とのメッセージが出ます。『OK』ボタンをクリックします。



以上で、証明書のインストールは完了です。